

# 第107回全国高等学校野球選手権 熊本大会 壮行会



熊本県立八代高等学校野球部



## 皆我師 ～2025～

「絶対に諦めない夏」

日時：令和7年6月29日（日）

場所：熊本県立八代高等学校  
野球部グラウンド

## 令和7年度八代高等学校野球部指導者



湯澤 勇貴 監督

「皆さん、高校野球は好きですか。」こんな1フレーズが印象的な春の選抜甲子園の選手宣誓でしたが、八代高校野球部の皆さんはどうですか。君たちは今、野球が好きですか。春の大会以降、ポジションが変わった人も少なくない状況で、チームも自分も上手くいかないことが増えて野球が楽しくなくなった人もいたのではないのでしょうか。しかし、皆さんはそんな苦しい状況でもチームが勝つために自分の課題から目を背けずに練習してきました。そして6月に入り漸く、八高の勝ち方が形を成してきました。辛い想いをしてながらも君たちが一人も欠けることなく、ここまで這い上がってくれたことに感謝します。ありがとう。しかしここで満足してはいけません。まだまだチームは成長の最中です。大会期間中も体技の向上を続けることはもちろん、夏の激戦をものにするためには勝者たる「心」を磨くことが必要不可欠です。

今一度大切にすることを2つ確認しましょう。①成長のスピードに大きく関わる「皆、我が師」の精神。目の前の授業はもちろん日常生活。そしてプロ野球選手だけでなく、チームメイトや対戦相手からも学びを得ようとする姿勢。自分の姿勢次第ではすべてが学びへと変わります。常に意識しておきましょう。②今この集中力(一球魂)。1日を大切にできる人、今を大切にできる人が、人生のここ一番で自分の力を発揮することができます。試合中、今この一球を大切にすることができれば、その後の1日1日を大切にすることに繋がります。野球は人生そのものです。以上特に大切にしてほしい2つのことを記しましたが、他にも徹底すべきことがありますね。徹底とその継続こそが強いチームの土台となります。支え合いながら最後まで丁寧にやり抜きましょう。

最後にチームスローガンと方針を載せております。保護者の皆様にも目を通していただき、八代高校野球部の活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

### チームスローガン

# 皆我師

#### 活動の目的

高校野球の諸活動を通して人間形成を図る

#### 目標

甲子園で勝つ(私学を倒す)

#### チーム像

打ち勝ち守り勝ち走り勝つチーム(5点以上取って4点以内に抑える+運)

※応援される人間性(全力疾走、返事、笑顔)

※グラウンドと野球道具は選手の心を映す鏡

※朝に強くなる。朝を制する者が1日を制する。1日を制する者が本番を制する。

捲き起こせ！八高旋風！！

## 私学を倒して甲子園で勝つ

【八代高校野球部】

|                       |                      |                     |                     |                    |              |                         |               |                         |
|-----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------|-------------------------|---------------|-------------------------|
| 怪我しない<br>危機管理能力       | 間食                   | 懸垂                  | イニング                | 点差                 | アウト<br>カウント  | 積み重ね                    | 準備            | イメージ                    |
| 体幹・瞬発系<br>トレーニング      | <b>体</b>             | BIG3+α              | ボール<br>カウント         | <b>マインド</b>        | 打順           | 俺がやる                    | <b>メンタル</b>   | 場合分け                    |
| 睡眠時間                  | 栄養の<br>バランス          | 入浴と<br>ストレッチ        | 打者走者                | やってきた<br>こと        | 捨てる勇気        | 闘志                      | 場面の<br>見極め    | 全力疾走                    |
| 自覚                    | 常時130<br>以上の<br>真っ直ぐ | 牽制と<br>フィール<br>ディング | <b>体</b>            | <b>マインド</b>        | <b>メンタル</b>  | スイング<br>スピード<br>130以上   | 犠牲バント<br>100% | 守備の観察と<br>アイデア          |
| コントロールと<br>修正力        | <b>投手</b>            | 完投できる<br>足腰         | <b>投手</b>           | <b>甲子園<br/>で勝つ</b> | <b>攻撃</b>    | 自分の<br>役割を把握<br>(群像の感覚) | <b>攻撃</b>     | タイミングと<br>バット<br>コントロール |
| キレのある<br>変化球を<br>2種以上 | 柔軟性と<br>筋力           | 雰囲気<br>の<br>掌握      | <b>守備</b>           | <b>走塁</b>          | <b>運</b>     | 選球体<br>選球眼              | 変化球への<br>対応力  | 思い切りと<br>集中力            |
| 予測確認<br>の声            | 狙い澄ました<br>スローイング     | 身を挺した<br>ストップ       | 次の塁を<br>狙う意識        | 守備位置の<br>確認        | リードの幅と<br>位置 | ゴミ拾い                    | 爽やかな<br>挨拶    | 親への態度                   |
| アウトを探す<br>意識          | <b>守備</b>            | ポジショニング             | ランナー<br>コーチとの<br>会話 | <b>走塁</b>          | 打球判断         | 審判員への<br>態度             | <b>運</b>      | 自立した<br>生活              |
| 一球毎の<br>声かけ           | 打順を頭に<br>入れた判断       | 覚悟をもった<br>フットワーク    | シャッフルと<br>スタート      | 駆け引き               | 全力疾走         | 目の前の<br>授業              | 動きの速さ         | ルールの<br>厳守              |

### 書くことは考えるということ 具体的とは細分化すること

勝つために必要なことを64の要素に分けて書き出してみました。  
これが完成されたチャートではありません。自分たちでも勝つために  
必要な要素を具体的に考え続けてください。ワクワクしてきますよ！

## 令和7年度八代高等学校野球部指導者



山崎 清貴 責任教諭

最近では熊本について話題になると、よく「野球が強いところですよ」という話になります。それは当然、全国大会での熊本勢の活躍、それに熊本出身のプロ野球選手の活躍や指導者の功績がいつもあったからだと感じます。近年も毎年のように熊本の出身や熊本の高校で成長した若手の有望な選手たちが、プロ野球や大学、社会人とその場を広げており、話題に事欠かない印象です。

また、高校野球がひたむきな若者のフェアプレーとともにあるからこそ、人々は声援を送ってくれます。その声援とともに野球ができる自由と平和の重みを今一度かみしめたいと思います。地方では少子化に伴い高校生の数、ひいては高校野球部員も減ってきています。以前と比べてスポーツが多様化しているのも、部員数減少の要因の一つだと言われます。高校野球をとりまく課題はありますが、懸命に白球を追う高校野球児の清々しさは、これからも変わることはありません。

八高野球部のみなさん、是非、人に夢と希望と感動を提供できるように、熊本県民が躍動感あふれる野球の魅力や感動、フェアプレー精神に触れる機会を作っていただき、野球に親しむ層の裾野拡大にご尽力いただければ幸いです。

そして、最後の夏の大会、絶対に諦めないで、決勝戦まで勝ち進んでください。



## 捲き起こせ！八高旋風！！



佐澤 惇生 副責任教諭

赴任する以前から、私は八高野球部に「洗練された野球」をするイメージがありました。実際、日々の練習ではプレー内外の細部にまでこだわって徹底することを一つ一つ増やしていき、気になるプレーがあれば必ず仲間と意見を交わしながら精度を高めていく。まさに「皆我師」を体現するチームだと感じさせられます。そのような練習を日々積み重ねる姿を見ていると、この夏、八高野球部の活躍が、本当に待ち遠しくなります。夏に向けて私から皆さんに伝えたいことは、ただひとつです。全力を出し尽くしてほしい。いかなる場面でも、「誰かのせいで負けた」といった言葉が決して出てこないよう、全員が自分自身の持てる力のすべてを出し切ってください。

私自身、高校野球生活の最後は見逃し三振で終わりました。なぜ最後の一球を振り抜くことができなかったのか、あの場面は今でも頭にこびり付いて離れることがありません。ただ、あの時の私を支えてくれたのは、チームメイト、監督、両親でした。励ましのおかげで前を向くことができ、大学でも違う形で野球を続け、今こうして副責任教諭という立場で再び高校野球に携わる機会を得ることができました。

現在の3年生22名には、強い絆と仲間意識があります。そこに1・2年生、指導陣を加えた計60名。さらに、いつでも野球部を支援し見守ってくださる保護者の皆様、学校生活をともにする同級生や先生方など、多くの方々が皆さんを支えています。苦しい場面が訪れることもあるかもしれませんが、皆さんにはたくさんの仲間がいます。だからこそ、どんな状況であっても、臆することなく、全身全霊で一球一球に向き合ってください。皆さんの努力と覚悟が、八高野球部の誇りとなることを心から願っています。

最高の夏を、全員でつかみにいきましょう。



## 令和7年度八代高等学校 野球部員



### 熊本県立八代高等学校校歌

## 「道」

林 耕 治 人  
光 作 詞  
作曲

一 遠く聞ゆるは、八代海の潮音か

心の耳澄ませば強く生きん

一途の道 歩けと囁くがごとし

我が学びの友よ

あこがれと高き望み

胸に抱き永遠に 永遠に進まん

美しきふるさとの 我が学び舎よ

二 球磨の流れ速く 古城の壕深く沈み

睡蓮の花清らかに 年古し梅は

学び舎の近くにありてかぐわし

我が学びの友よ

あこがれと高き望み

胸に抱き永遠に 永遠に進まん

美しきふるさとの 我が学び舎よ

三 若きいのちよ 沃野ふく風汝に伝う

世の荒波狂ふとも 真理はくもらじ

常に育て鍛えてぞ 辛苦を超ゆる

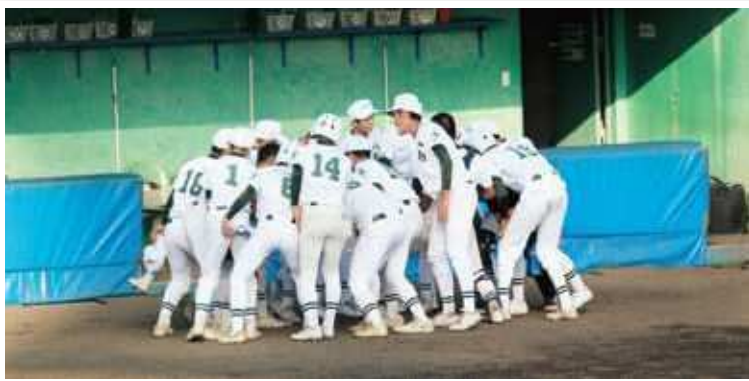
我が学びの友よ

あこがれと高き望み

胸に抱き永遠に 永遠に進まん

美しきふるさとの 我が学び舎よ

捲き起こせ！八高旋風！！



第 107 回 全 国 高 等 学 校 野 球 選 手 権 熊 本 大 会 組 合 せ

と き 令和7年7月5日(土)～23日(水)

と ころ リブワーク藤崎台球場 県営八代野球場

※試合開始予定

開会式 9:00

I 11:00

II 13:30

① 9:00

② 11:30

( ③ 14:00 )

シード校

1. 東海大星翔

2. 専大熊本

2. 有明

4. 熊本工業

5. 文徳

6. 城北

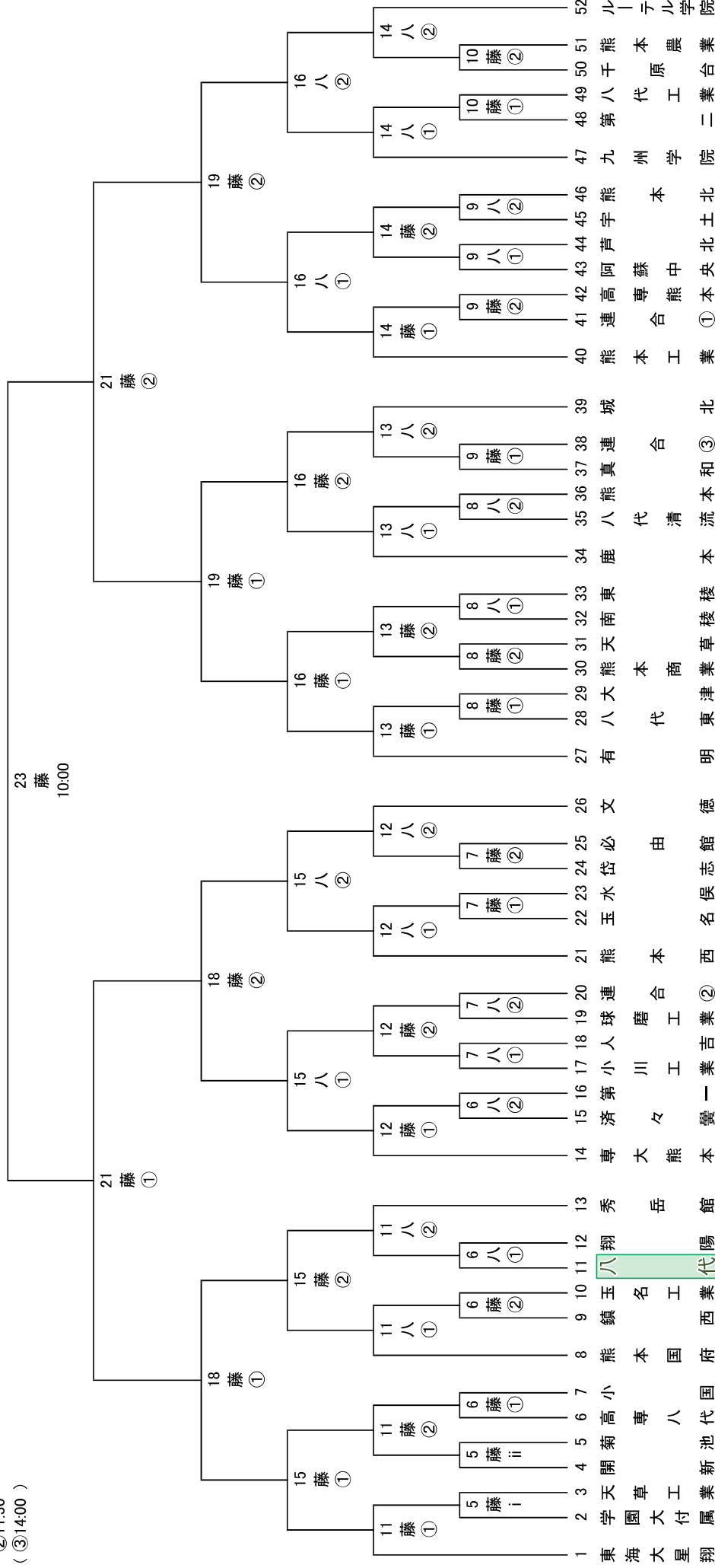
7. 秀岳館

8. ルーテル学院

連合① 鹿本商工・菊池農業

連合② 御船・矢部・甲佐・湧心館・八代農業

連合③ 天草拓心・牛深・上天草



# ～絆～

もしスタメンに選ばれたら、まわりを見回してほしい  
マネージャーがいる スコアラーがいる  
スタンドではベンチ入りできなかった仲間が  
声を張り上げて背中を押してくれる  
グラウンド整備やボールボーイでダッシュする後輩たちもいる  
支えてくれる大勢の人たちに思いを巡らせて打席に立つ選手は強い  
戦う舞台は一発勝負のトーナメント  
どんなことをしてでも点を取って次の試合につなげたいから  
自分を殺して仲間を生かすのだ  
そのプレーを野球の神様はきっと見ている  
どこかでまた、大きなチャンスにして返してくれるはずだ  
迷ったら前へ 苦しかったら前へ つらかったら前へ  
後悔するのはその後 ずっと後でいい

